

受付印	居住用不動産処分許可 申立書
	<p>※注意</p> <p>(この欄に収入印紙800円をはる。)</p>
収入印紙 800円	<p>※注意</p> <p>(はった印紙に押印しないでください。)</p>
予納郵便切手 円	

準口頭	基本事件番号 平成 28年(家) 第12345号
-----	--------------------------

書類の提出日(郵送の場合は発送日)

あなたのお名前

東京家庭裁判所 御中	申立人の	印
平成 年 月 日	記名押印	

押印(認印可)

添付書類	<input type="checkbox"/> 約書(写し), <input type="checkbox"/> 処分する不動産の評価証明書, <input type="checkbox"/> 不動産業者作成の査定書【売却する場合】 <input type="checkbox"/> 処分する不動産の全部事項証明書(既に提出済みの場合は不要) <input type="checkbox"/> <small>※後見登記事項に変更がある場合は住民票の写し, 戸籍謄本</small>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**提出する資料に
チェック**

申立人	住所	〒111 -0123 東京都〇〇区△△町1-2-3	電話 03 (1234) 56×× 携帯 000 (1234) 56××
	事務所連絡先	〒 -	電話 () (方)
	フリガナ氏名	コウケン 後見 太郎	
本人 <input type="checkbox"/> 被保人 <input type="checkbox"/> 被補佐 <input type="checkbox"/> 見助人	本籍	東京都 府 県 〇〇区△△町1-2-3	
	住所	〒111 -0123 東京都〇〇区△△町1-2-3	電話 () (方)
	フリガナ氏名	コウケン ハナコ 後見 花子	

申 立 て の 趣 旨

① 被後見人	ア 別紙売買契約書（案）
申立人が 2 被保佐人 の別紙物件目録記載の不動産につき	イ 別紙（根）抵当権設定契約書（案）
3 被補助人	ウ 別紙賃貸借契約書（案）
	エ その他（ ）

のとおり	をすることを許可する旨の審判を求める。
Ⓐ 売却	b (根) 抵当権の設定
c 賃貸	d 賃貸借の解除
e その他（ ）	

**不動産を処分しないといけない理由や、
本人の状況・意向等を記入してください**

申 立 て の 理 由

（売買の場合）成年被後見人は現在認知症により施設に入所しており、回復の見込みはないが、その施設費や医療費が現在の預貯金だけでは不足するため、本人の自宅の別紙物件目録記載の不動産を処分する必要がある。また、査定書の通り、売却代金も妥当な金額である。

（抵当権の設定の場合）成年被後見人は現在自宅で療養中であるが〇〇銀行から、300万円を借り受けて、自宅のトイレを介護用にリフォームしたいと考えている。そのリフォーム費用について、成年被後見人所有の別紙物件目録記載の不動産に債権額と同額の抵当権を設定したいと考えております。

（賃貸借契約解除の場合）成年被後見人は現在施設に入所しており、この後もこの施設で暮らす予定です。そのため今まで自宅として借りていた住宅（〇〇アパート△△号室）の賃貸借契約を解除したいと考えております。

（自宅の取壊しの場合）成年被後見人は現在施設に入所しており、この後もこの施設で暮らす予定です。今まで自宅として残っていた成年被後見人所有の別紙物件目録記載の建物は老朽化により倒壊の危険があり、取り壊したいと考えております。